

水 泳 静 岡

早いもので、2024年度（令和6年度）も残すところ1ヶ月となりました。今年度は、パリでのオリンピック・パラリンピックが開催された年であり、また、（一社）静岡県水泳連盟としては、統合50周年を迎えた記念すべき1年となりました。パリパラリンピック競技大会では、本県出身の鈴木孝幸選手が金メダリストとなりました。佐賀で行われた第78回国民スポーツ大会では、成年のベテラン、松本周也選手が金メダルを獲得し、天皇杯8位という快挙を、全国中学校水泳選手権大会において、個人種目では、川村誠吾選手、宮崎緒里選手、リレーでは、とこはSSの若い選手たちが金メダルを獲得し、今後の静岡県の水泳に大きな期待をもたらしました。この勢いを来年度につなげ、「水泳静岡」の名が全国に届きますよう、選手、指導者、ご家族、応援者一丸となって盛り上げていきましょう♪



委 員 会 情 報

～各委員会より寄せられました

情報を掲載いたします～

<各講習会・研修会等のお知らせ>

★普及委員会★

▶小学校体育実技指導（水泳）協力者募集

<日 時> 2025年6月中旬～7月下旬の平日午前中、1校2時間程度

<場 所> 東部地区、中・西部地区（静岡市・浜松市は除く）の小学校プール

<資 格> 日本スポーツ協会公認 水泳コーチ1・2

<その他> 日当・旅費は、県教育委員会から支給されます。

協力していただける方は、3月下旬までに県水泳連盟事務局にご連絡ください。

★競技委員会★

▶2025年度競技役員・競泳公認審判員研修会

<日 時> 2025年4月20日（日） 9時15分～受付開始

<場 所> 静岡県総合社会福祉会館シズウェル 703号室

<対象者> (1)有資格者：A級・B級・C級審判員 (2)新規資格取得者

<参加費> (1)有資格者：3,000円 (2)新規資格取得者：5,000円（テキスト代含）

<申込方法> 「2025年度競技役員研修会申込書」（本連盟ホームページに掲載）に必要事項を記入し、4月4日（金）までに、（一社）静岡県水泳連盟事務局へFAXもしくは郵送で申し込む。

<競技会の報告等>

★競泳委員会★

令和6年度 主な戦績

☆国際大会

第10回ジュニアパンパシフィック選手権／オーストラリア・キャンベラ 8月21日～24日

高遥香選手が日本代表に選出され、3種目に出場し、素晴らしい成績を収めました。とくに1500m自由形では表彰台に上りました。

高 遥香（城南静岡高校3年／とこはスイミングスクール）

400m自由形 6位・800m自由形 4位・1500m自由形 3位

☆全国大会 太字は優勝者

◎第92回日本高等学校選手権水泳競技大会／佐賀県・SAGA アクア 8月17日～20日

決勝進出者

<男子>

奥 大輝（飛龍高校3年）100m背泳ぎ 4位

太箸 隼翔（浜松商業高校2年）200mバタフライ 4位

<女子>

佐藤 麗（飛龍高校2年）800m自由形 8位

大澤 千依（磐田農業高校2年）100mバタフライ 7位

◎第64回全国中学校水泳競技大会／石川県・金沢プール 8月17日～19日

静岡県勢は個人で2種目、リレーで1種目の優勝を果たしました！！

決勝進出者

<男子>

宮崎 緒里（浜松新津中学3年）100m平泳ぎ 2位・200m平泳ぎ 優勝

川村 誠吾（グランツスイミング 中学3年）100mバタフライ 4位・200mバタフライ 優勝

*リレー

レオリブレスポーツクラブ【金子侑生・長澤走・松田巧・海野陽生】4×100mフリーリレー 5位

<女子>

栗田 彩華（とこはスイミングスクール 中学3年）800m自由形 4位

片山 詩織（県立浜松西中等部3年）100mバタフライ 6位

*リレー

とこはスイミングスクール【岡田朱純・栗田彩華・松永つき乃・杉山暁菜】

4×100mフリーリレー 優勝

グランツスイミング【山川めぐ・小長谷知花・小山田耀・岡部絢花】4×100mフリーリレー 6位

城南静岡中学【近藤海心・薮崎そら・中村朱里・橋本涼】4×100mメドレーリレー 7位

◎第47回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会

／東京都・アクアティックセンター

8月22日～26日 宮崎選手が3種目、川村選手が2種目で優勝を果たしました。

決勝進出者

<男子>

*13~14 歳

宮崎 緒里 (浜名湖スイミングスクール)

100m平泳ぎ 優勝・200m平泳ぎ 優勝・400m個人メドレー 優勝※大会新記録

川村 誠吾 (グランツスイミング) 100mバタフライ 優勝・200mバタフライ 優勝

浜名湖スイミングスクール【河田凌成・宮崎緒里・中嶋大翔・竹内凜仁】

4×100mメドレーリレー 5位

*15~16 歳

太箸 隼翔 (浜松グリーンズスイミング高台プール)

400m自由形 4位・100mバタフライ 8位・200mバタフライ 2位

*CS

花村 優輝 (東部スイミングスクール/三島北高) 50m自由形 4位

鈴木 颯 (浜名湖スイミングスクール) 200m自由形 7位

<女子>

*13~14 歳

中村 朱里 (城南静岡中学/アケアクラブ) 100mバタフライ 4位

*15~16 歳

戸塚日南子 (伊豆伊東高校) 200m自由形 8位

栗田 彩華 (とこはスイミングスクール) 400m自由形 3位

*CS

佐藤 麗 (飛龍高校/Rスイミングクラブ富士) 800m自由形 6位

大澤 千依 (袋井スイミングクラブ) 200m個人メドレー 4位

◎第78回国民スポーツ大会/佐賀県・SAGA アクア 9月14日~16日

静岡県は天皇杯8位を獲得、競泳は競技別得点62.5点で全国7位。成年がリーダーシップを発揮し、少年男女も大健闘、チーム一丸となり好結果を収めることができました。

決勝進出者

<男子>

*少年B 宮崎 緒里 100m平泳ぎ 3位

川村 誠吾 100mバタフライ 3位

静岡【原田卓門・宮崎緒里・川村誠吾・伊藤吉平】 4×100mメドレーリレー 5位

*少年A 太箸 隼翔 200mバタフライ 7位

奥大輝・齋藤健太・太箸隼翔・鈴木颯 4×100mメドレーリレー 7位

*成年 松本 周也 100m自由形 優勝 200m個人メドレー 3位

大木 優瑠 400m自由形 7位

静岡【松田隼人・松本周也・石川大智・川嶋虎太郎】 4×50mフリーリレー 3位

<女子>

*少年B 戸塚日南子 200m個人メドレー 5位

静岡【戸塚日南子・栗田彩華・栗田絆有・石川葵】 4×100mフリーリレー 8位

*少年共通 高 遥香 400m自由形 3位

*成年 望月 絹子 400m自由形 2位

静岡【鈴木月渚・望月絹子・松永爽羽・中村菜々穂】 4×50mフリーリレー 6位



写真：国スポ競泳選手団 選手 40 名スタッフ 12 名／宿舎にて

☆2024 年度（公財）日本水泳連盟ナショナル標準記録 突破者

宮崎 緒里（浜名湖スイミングスクール）中学 3 年 100m 平泳ぎ・400m 個人メドレー

戸塚 晴喜（伊東スイミングスクール） 中学 2 年 200m 自由形

☆2024 年度全国 11 ブロックシンガポール遠征 日本代表選手団

戸塚晴喜選手が東海地区から代表に選ばれました。また、この代表選手団長は寺田政義理事長が務めます。

静岡県のジュニア選手、静岡県出身のふるさと選手をこれからも応援してください！

★飛込委員会★

☆国民スポーツ大会（飛込競技）報告

飛込委員長 内藤英樹

長きに亘り開催されてきた「国民体育大会」が昨年で終わり、本年より「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを」のスローガンのもと佐賀県で第 1 回となる国民スポーツ大会が開催された。飛込競技は、9 月 14 日（土）から 16 日（月）まで 3 日間の日程で佐賀市の SAGA アクアで青空のもと行われた。

本年の本県飛込選手団は、監督に内藤英樹（静岡ビル保善株）。選手は、成年男子飛板飛込と高飛込に出場の山田周汰（岡三リビック株）、少年女子飛板飛込に出場の疋田日菜（浜松日体高校 2 年）の 2 名で、飛込全 8 競技種目中 3 競技種目へ出場した。

15 日の少年女子飛板飛込に出場した疋田は、昨年に続き 2 度目の県代表選手としての出場。大会の雰囲気やレベルを知っている疋田は、事前の強化合宿までの取り組みはもちろん、現地でも時間を見つけては練習を行うなど、準備に余念がなかった。試合では 12 位と入賞には届かなかったが、県代表選手としての自覚を十分に感じられる内容であった。演技自体は 8 位入賞に届かないレベルではないため、高校最終学年となる来季に向け、引き続きモチベーションを落とすことなく強化に励んでもらいたい。

同じく 15 日の成年男子飛板飛込と翌 16 日の成年男子高飛込に出場した山田は、飛板飛込 5 位、

高飛込6位と2競技種目で入賞を果たすことができた。上位層の実力が拮抗する成年男子は、少しのミスで順位が大きく入れ替わる大変スリリングで緊張感のある試合展開が続いた。そうした中、飛板飛込では、大きなミス無くベストダイブに近い演技で飛び切り、高飛込では、持ち味のノースプラッシュで審判員から9点を出させるなど、勢いと高い集中力で、ここ一番の強さを十分にアピールできた試合内容であった。本年度、新たな目標に向かい所属先を替えた山田の競技に対する意思と意欲が演技に反映されており、メンタルと技術の成長を確認することができた。今後も更なる活躍を期待したい。

余談となりますが、開催期間中にパリオリンピック飛込代表選手団の報告会があり、飛込界の悲願でもあった玉井選手の銀メダルを内藤が持たせてもらい、飛込界の思いの詰まったメダルの重さを感じさせていただくことができました。

最後に、日頃より飛込競技に深いご理解を頂いております静岡県水泳連盟関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

◆国民スポーツ大会飛込選手団

- ・監督1名 内藤英樹（静岡ビル保善㈱）
- ・選手2名 山田周汰（岡三リビック㈱） 成年男子 飛板飛込・高飛込
 疋田日菜（浜松日体高校2年） 少年女子 飛板飛込

◆国民スポーツ大会飛込日程と成績

- ・9月14日（土）少年女子高飛込／少年男子板飛込／成年女子高飛込：出場なし
- ・9月15日（日）少年女子板飛込：疋田日菜 12位／14
 少年男子高飛込：出場なし
 成年男子板飛込：山田周汰 5位／14
- ・9月16日（月）成年女子板飛込：出場なし
 成年男子高飛込：山田周汰 6位／10



疋田選手（左）・山田選手（右）



疋田選手



山田選手



内藤監督と玉井陸斗選手

★AS 委員会★

☆世界ジュニア遠征

あべき敦美

この度、2024年 WORLD AQUATICS AS ジュニア選手権大会に出場しました畑中愛梨が、チームテクニカル、フリーの銀メダルをぶらさげて静岡へ帰ってきました。

昨年度のJ0、国体、選考会、そして5月からの代表活動を経て、誰もが経験することのない特別な経験をさせていただいたこと、大変感謝しております。どうもありがとうございました。

ASはパリオリンピックでの結果はよくなかったのですが、今回は、このジュニアメンバーが日本にいい風を吹かせてくれました。これからが期待できる若い力を大変頼もしく思います。また静岡より世界へ選手を送り出せるよう頑張っていきますので、どうかよろしくお願い致します。

◆2024年 WORLD AQUATICS AS ジュニア選手権大会

<期間>2024年8月28日(水)~9月1日(日)

<主催者>世界水泳連盟 (World Aquatics)

<会場>リマ (ペルー) /VIDENA Aquatic Center



「チーム世界ジュニア」



畑中愛梨選手

★水球委員会★

☆国民スポーツ大会第45回東海ブロック大会

水球競技結果☆

全国的にみても激戦区である東海ブロック予選。女子の国スポ本選出場枠は「1」。大会1日目の三重県・愛知県には残念ながら惜敗。

2日目最終試合となる岐阜県戦では終盤に追いつかれる苦しい展開でしたが、ブザービーターによる得点で勝利し3位となりました。

2024年度は男子・女子ともに残念ながら国スポ本選への出場権を逃す結果となってしまいました。



チームワーク抜群！水球チーム

水球競技組み合わせ

8月2日（金）

第1試合（11：00）女子①

(岐阜県)	{	5 — 3	(愛知県)
	{	5 — 1	
1 8	{	6 — 3	1 1
	{	2 — 4	

(人長・酒井)

第2試合（11：45）女子②

(静岡県)	{	4 — 4	(三重県)
	{	2 — 5	
1 1	{	2 — 2	1 2
	{	3 — 1	

(太田・小林)

第3試合（13：00）男子①

(岐阜県)	{	8 — 0	(静岡県)
	{	6 — 0	
2 5	{	4 — 2	2
	{	7 — 0	

(人長・太田)

第4試合（14：15）男子②

(愛知県)	{	2 — 5	(三重県)
	{	0 — 4	
7	{	3 — 5	1 6
	{	3 — 2	

(佐伯・小林)

8月3日（土）

第5試合（11：00）女子③

(岐阜県)	{	2 — 4	(静岡県)
	{	1 — 3	
1 1	{	4 — 3	1 2
	{	4 — 1	

(人長・太田)

第6試合（11：45）女子④

(愛知県)	{	1 — 4	(三重県)
	{	3 — 2	
7	{	0 — 4	1 2
	{	3 — 2	

(佐伯・小林)

第7試合（13：00）男子③

(岐阜県)	{	4 — 2	(愛知県)
	{	3 — 1	
1 2	{	4 — 3	1 0
	{	1 — 4	

(人長・酒井)

第8試合（14：15）男子④

(静岡県)	{	1 — 7	(三重県)
	{	2 — 6	
1 1	{	3 — 6	2 7
	{	2 — 8	

(太田・小林)

8月4日(日)

第9試合(11:00)女子⑤

(岐阜県) $\left(\begin{array}{c} 2 - 4 \\ 2 - 4 \\ 5 - 3 \\ 4 - 3 \end{array} \right)$ (三重県)
13 14
(太田・酒井)

第10試合(11:45)女子⑥

(愛知県) $\left(\begin{array}{c} 2 - 4 \\ 4 - 5 \\ 4 - 1 \\ 4 - 1 \end{array} \right)$ (静岡県)
14 11
(人長・小林)

第11試合(13:00)男子⑤

(岐阜県) $\left(\begin{array}{c} 2 - 4 \\ 5 - 3 \\ 6 - 2 \\ 1 - 5 \\ 3 \text{ PSO } 4 \end{array} \right)$ (三重県)
14 15
(佐伯・太田)

第12試合(14:15)男子⑥

(愛知県) $\left(\begin{array}{c} 6 - 3 \\ 5 - 0 \\ 5 - 2 \\ 6 - 1 \end{array} \right)$ (静岡県)
22 6
(人長・小林)

男子リーグ戦表

	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	勝 点 (勝-負)	総得点	順 位
						総失点	
岐阜県		25-2 ○	12-10 ○	14-15 PSO●	9 (2-1)	51 27	2
静岡県	2-25 ●		6-22 ●	8-27 ●	0 (0-3)	16 74	
愛知県	10-12 ●	22-6 ○		7-16 ●	4 (1-2)	39 34	3
三重県	15-14 PSO○	27-8 ○	16-7 ○		11 (3-0)	58 29	

(令和6年度は2県)

代 表 県	三重県
	岐阜県

女子リーグ戦表

	岐阜県	愛知県	静岡県	三重県	勝 点 (勝-負)	総得点	順 位
						総失点	
岐阜県		18-11 ○	11-12 ●	13-14 ●	4 (1-2)	42 37	2
愛知県	11-18 ●		14-11 ○	7-12 ●	4 (1-2)	32 41	
静岡県	12-11 ○	11-14 ●		11-12 ●	4 (1-2)	34 37	3
三重県	14-13 ○	12-7 ○	12-11 ○		12 (3-0)	38 31	

代 表 県	三重県
-------	-----

※試合時間 男子8分×4P 女子5分×4P

★OWS 委員会★

☆第 78 回国体スポーツ大会 (SAGA2024) を終えて (OWS 競技)

OWS 委員長 朝倉 誠喜

国民体育大会から国民スポーツ大会へと名称が変更して初めての大会となりました。男子は、鈴木麻央選手 (明治大学 1 年、浜名湖 SS)、女子は、高 遥香選手 (城南静岡高校 3 年、とこほ SS) が静岡県代表選手となりました。特に高選手は、直前のジュニアパンパシフィック大会において、1500m 自由形で 3 位入賞という輝かしい結果を残しましたので、国民スポーツ大会でも上位入賞の期待がかかりました。

事前合宿では、メインスイムを 5km にターゲットを絞ったメニューで強化をしました。初めは、ストロークやタイムが安定しませんでした。練習を重ねるにつれ、安定した泳ぎができるようになり、選手も自信を持つことができました。また、オープンウォータースイミング特有のターンブイの回り方などの練習を行い、オープンウォーター経験の多い高選手から鈴木選手に手本を見せながらコツを教える姿がありました。

9 月 9 日の出発日は、インカレが終了した翌日ということもあり、インカレで男子総合優勝した鈴木選手にとっては、過密なスケジュールの中での出発となりました。また、インカレ期間中は、国スポ本番に向けて調整練習を欠かさず行ってくれました。

9 月 10 日の監督者会議では、気温と海水温が高く、選手の健康面を考慮して、男子スタート 2 分後に女子がスタートすることに変更となりましたが、事前に変更する可能性があることが告知があったため、選手も混乱することなく対応できました。ただ、気温が 36.7 度と佐賀県内でも伊万里市が 1 番高く、9 月の過去最高気温を塗り替える暑さとなりました。

9 月 11 日も天候に恵まれ、時間が経つにつれ気温が上昇しました。暑い環境の中、涼しい場所を確保しつつ、体力を温存して水分補給やエネルギー補給などの準備をしました。スタート位置は、男女とも好位置になり、スタート時にマークする選手やレース展開、ラストスパート時の作戦等を練り、確認し合いました。

レースでは、鈴木選手は作戦どおり第 1 集団に食らいつき、周回を重ねました。3 周目以降が勝負の分かれ道でしたが、集団から離れず我慢し、最終周に入りました。第 2 集団の先頭を力泳し、最後の第 4 ブイを回った所でラストスパートし、持ち前のスピードを生かして男子初となる 7 位に入賞しました。高選手は、落ち着いて第 1 集団で泳ぎ、安定したストロークで上位につけていました。上位 3 人が抜け出た後も自分の位置を確認しながら確実に 4 位を死守するレース展開で早めのスパートを行い、女子最高位の 4 位入賞を果たすことができました。オープンウォーター競技としては、男女共に入賞を果たすことができ、今後も期待が持てる内容で終わることができました。

今回、このような機会を与えてくださった
(一社) 静岡県水泳連盟並びに関係者の皆様に
深く感謝し、お礼に代えさせていただきます。
ありがとうございました。



男女初のダブル入賞を果たした笑顔の選手

★パラ水泳委員会★

☆第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」

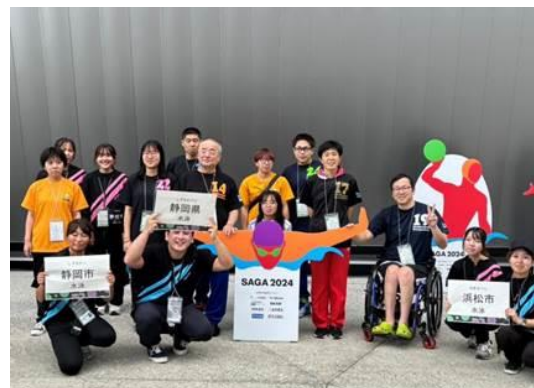
静岡県障がい者水泳協会

第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」が10月26日（土）から28日（月）にかけて佐賀市 SAGA サンライズパーク SAGA アクアで開催されました。静岡県・静岡市・浜松市の代表として選手9名、スタッフ7名、総勢17名が参加しました。

競技会場は佐賀県でしたが、宿舎が福岡県となってしまう、毎日約1時間のバス移動というハンディもありましたが、全員がメダルを獲得することができました。競技前の選手の緊張や不安そうな顔が、競技後にさわやかな笑顔となったのがとても印象的でした。これも選手・スタッフが一丸となり、「オール静岡」の体制で大会に臨んだこと、現地の運営スタッフをはじめとする多くの皆様の協力、声援の賜物と考えております。ありがとうございました。



会場となった SAGA アクア



静岡県・静岡市・浜松市のなかよし選手団

☆（WPS 主催）パラ水泳ワールドシリーズ富士・静岡

～PARA SWIMMING WORLD SERIES FUJI-SHIZUOKA～

2025年4月10日（木）～12日（土）の期間で、静岡県富士水泳場にて、パラ水泳のワールドシリーズが開催されます。世界の各地から富士山のもと、富士水泳場にパラスイマーが集まってきます！パリパラリンピック金メダリストの鈴木孝幸選手はじめ、日本の選手も多数参加いたします。

みなさま、どうか温かい応援よろしく申し上げます♪

一般社団法人静岡県水泳連盟広報誌

水泳静岡

2025年2月23日発行 第24号

発行所 一般社団法人静岡県水泳連盟

静岡市駿河区南町5-25才茂ビル2F

電話 054-283-6758

FAX 054-280-1340